

Kokoro通信

みんなで考える心の健康づくり



こころちゃん

ありがとう そのひとことがうれしいな
～平成25年度標語作品 小学生低学年の部 特賞～

第5回『心のあたたかさ命のすばらしさ』を考えるフォーラムを開催しました

5回目となる今回は、記録映画「希望のシグナル―自殺防止最前線からの提言」を観賞し、その後6名のパネリストから、これからの自殺予防のための地域づくりについて考えを述べていただきました。

ここで印象に残ったことばを簡単にご紹介します。

都鳥伸也 氏(希望のシグナル映画監督)

- ・自分たちがパワーを持っていなければ人をささえられないことを教えられた。
- ・やさしい社会って何だろう。
- ・自殺対策とは、風邪予防ならうがい、虫歯予防なら歯磨きというような、誰でもできる活動だということに気付いた。

袴田俊英 氏(心といのちを考える会会長)

- ・「優しさ」だけでは人は救えないと言われたが、自分は「優しさ」にこだわりたい。「優しさ」とは、人のうわさ話をしない、話をしっかり受け止めること。それが優しい行為ではないか。

佐藤久男 氏(NPO法人 蜘蛛の糸理事長)

- ・(被災地へ何度も行かれて感じたことから)スピード感がなくても、必ず成果は出る。住民の命を守る、三種町の住民を守るという消防士のような気持ちが大切。

小野綾子 氏(三種町保健センター保健師)

- ・秋田県の自殺対策はさまざまな民間団体で支えられている。
- ・サロンは地域のつながりの活動。サロンに来た人だけでなく、サロンの人も元気になる。
- ・自殺対策は地域づくり、町づくり。地域のちょっとおせっかいな人の存在が重要になってくる。

三浦町長

- ・これから数十年後は、単独世帯や2人世帯がほとんどと推測されている。そこに住んでみたい、これから三種町を誇りに思えるような町にしていきたい。
- ・福祉については、住民の幸せを真っ先に考えて充実させたい。そして自発性のある地域には積極的に応援していきたい。(関連する事業として、元気づくり支援事業を紹介)



《フォーラムアンケート集計から》

- ◎参加者は60～70歳代が多かった
- ◎記録映画はとてもよかった・よかったが全体の75%を占めた。また、パネルディスカッションもよくわかった・わかったが76%を占めた。
- ◎「自分も地域の人に声をかけたい」や「地域の人と輪をつくりたい」との意見が多かった。

その他色いろなご意見をいただきました。ありがとうございました。活動の参考にさせていただきますとともに、今後改善を図っていきます。

“いのちの総合相談会”を行います

「あなたの頭から離れない悩みを、一緒に考えます。一緒に解決へ向けて行動しませんか。」

日時 11月8日・9日 10:00～16:00

会場 三種町保健センター

NPO法人蜘蛛の糸メンバーや司法書士、産業カウンセラーがご相談に応じます。相談は面接によります。1回あたりの相談時間は1～2時間程です。相談は無料。秘密は厳守いたします。事前にお申し込みをお願いします。

能代山本郡内の方でも結構です。

申込み NPO法人 蜘蛛の糸
TEL 018-853-9759

詳細については、全戸に配布したチラシをごらんください。

